

個人投資家さま向けオンライン説明会
ソフトバンクの成長戦略

ソフトバンク株式会社
取締役 専務執行役員 兼 CFO

藤原 和彦

2024年12月12日

本日の流れ

1. 会社概要と業績
2. 事業別の状況
3. 長期的な成長に向けた取り組み
4. 株主還元の方針

本日の流れ

1. 会社概要と業績
2. 事業別の状況
3. 長期的な成長に向けた取り組み
4. 株主還元の方針

親会社と明確な住み分け

親会社

ソフトバンクグループ(株)

世界のAI企業へ投資する
「投資会社」

代表取締役 会長兼社長執行役員
孫 正義



当社

ソフトバンク(株)

通信やIT事業を行う
「事業会社」

代表取締役社長執行役員 兼 CEO
宮川 潤一

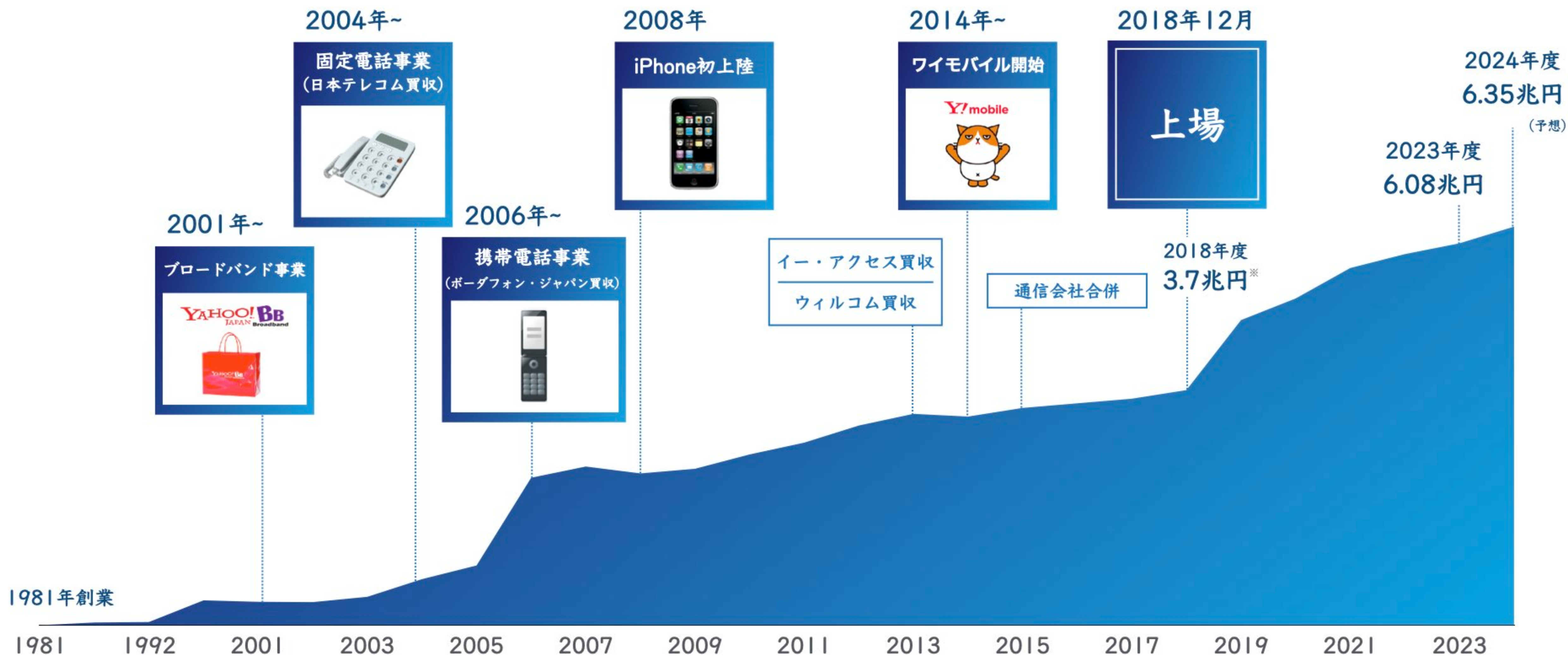


議決権比率

40.4%

独立社外取締役が
全取締役の過半数
(6名/11名)

ユーザーの皆さまに支えられ着実に売上高を拡大



「非通信領域の拡大」を宣言



非通信領域で大型の経営アクションを次々実行



国内有数のICTサービスを提供する企業グループ

SoftBank

Y!mobile **LINE MO**

携帯電話サービス顧客満足度No.1 ※1
＜バリューキャリア：ワイモバイル＞

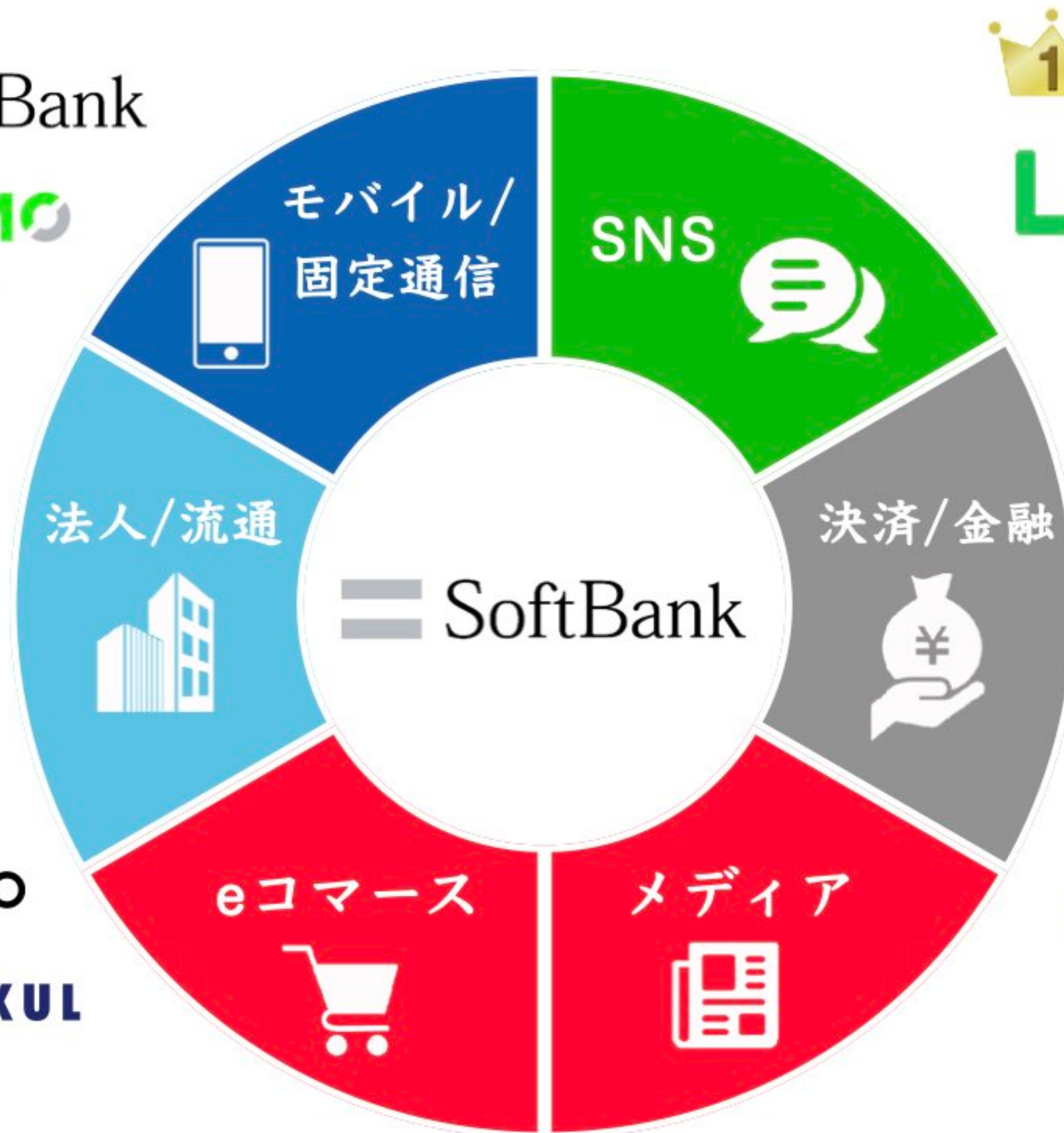
SoftBank SB C&S

法人向けネットワークサービス顧客満足度No.1 ※2
＜大企業市場＞

Y!ショッピング **ZOZO**

YAHOO! JAPAN オークション **ASKUL**

一休.com **LINE GIFT**



LINE

主なソーシャルメディア系
サービス／アプリ等の利用率 No.1 ※3



国内QR・バーコード決済 ※4
取扱高・回数 No.1



PayPay



PayPay カード



SB Payment Service



PayPay 証券



国内トータルデジタルリーチNo.1 ※5

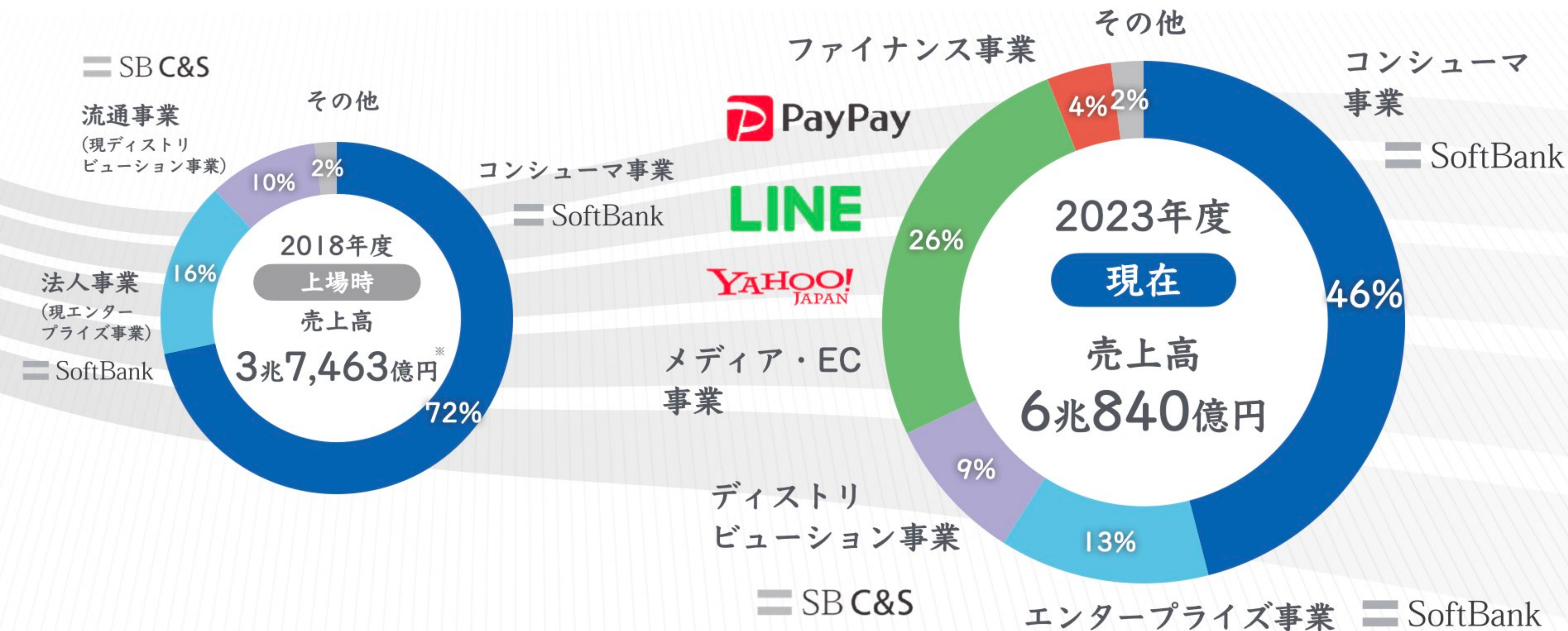
YAHOO! JAPAN

YAHOO! JAPAN ニュース

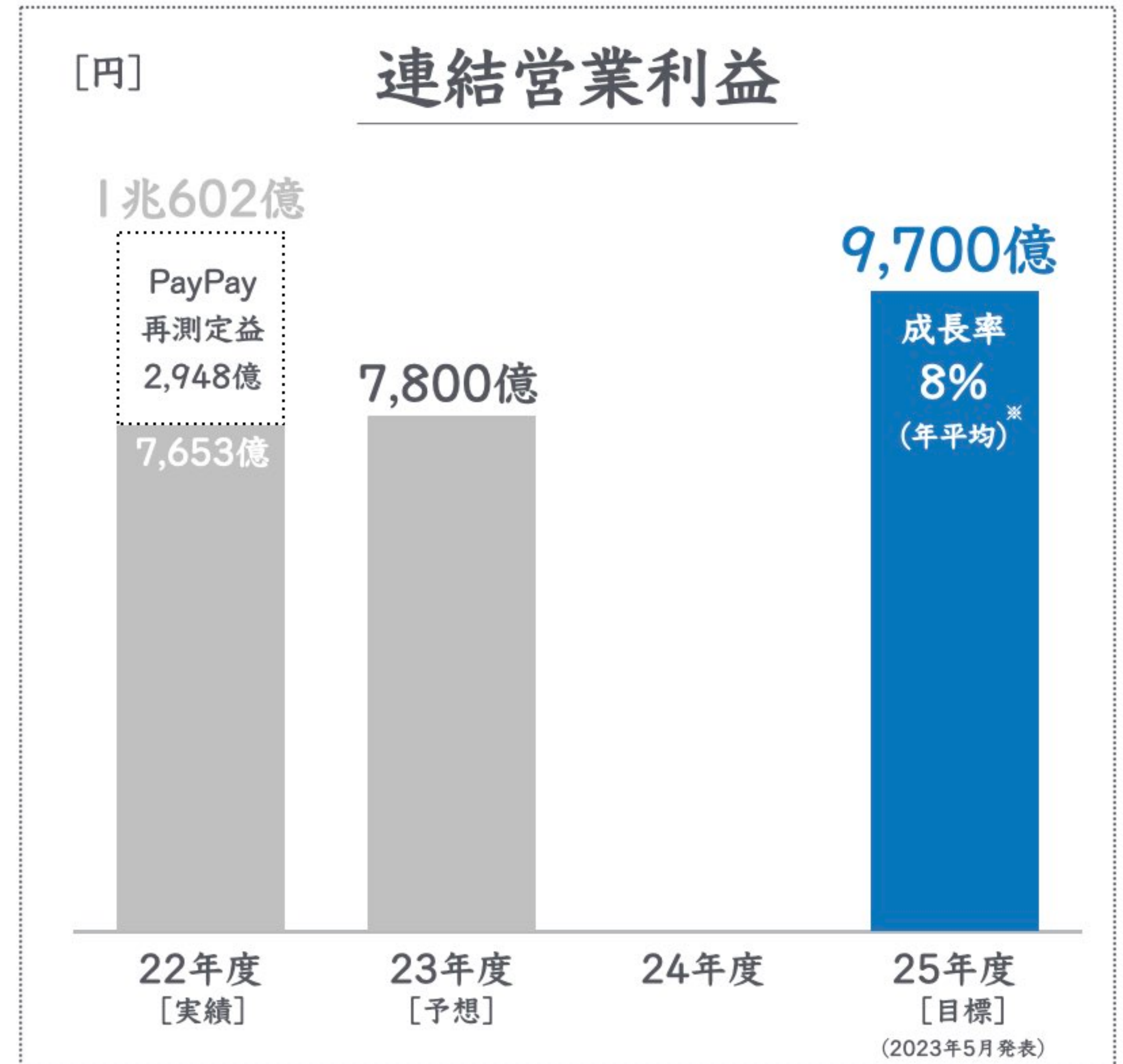
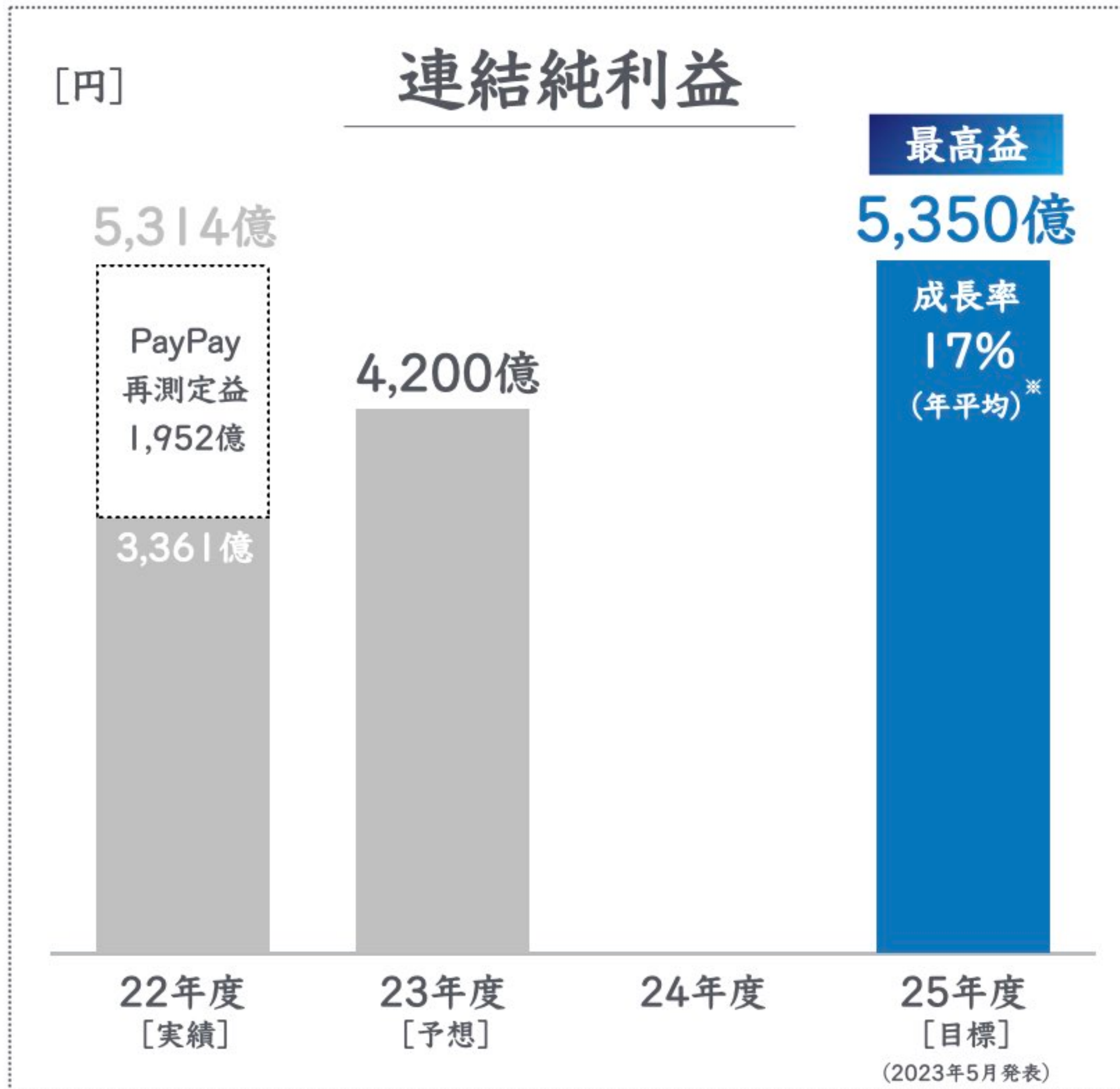
※1 J.D. パワー2024年携帯電話サービス顧客満足度調査。バリューキャリア部門4,600人の回答による。※2 J.D. パワー2023年法人向けネットワークサービス顧客満足度調査。従業員1,000人以上の企業487社から816件の回答による。

※3 総務省情報通信政策研究所 令和4年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書〈概要〉（2023年6月）※4 一般社団法人キャッシュレス推進協議会の開示資料（コード決済利用動向調査 2024年3月25日公表）を元に算出、当社調べ。※5 ニールセン TOPS OF 2023：DIGITAL IN JAPAN

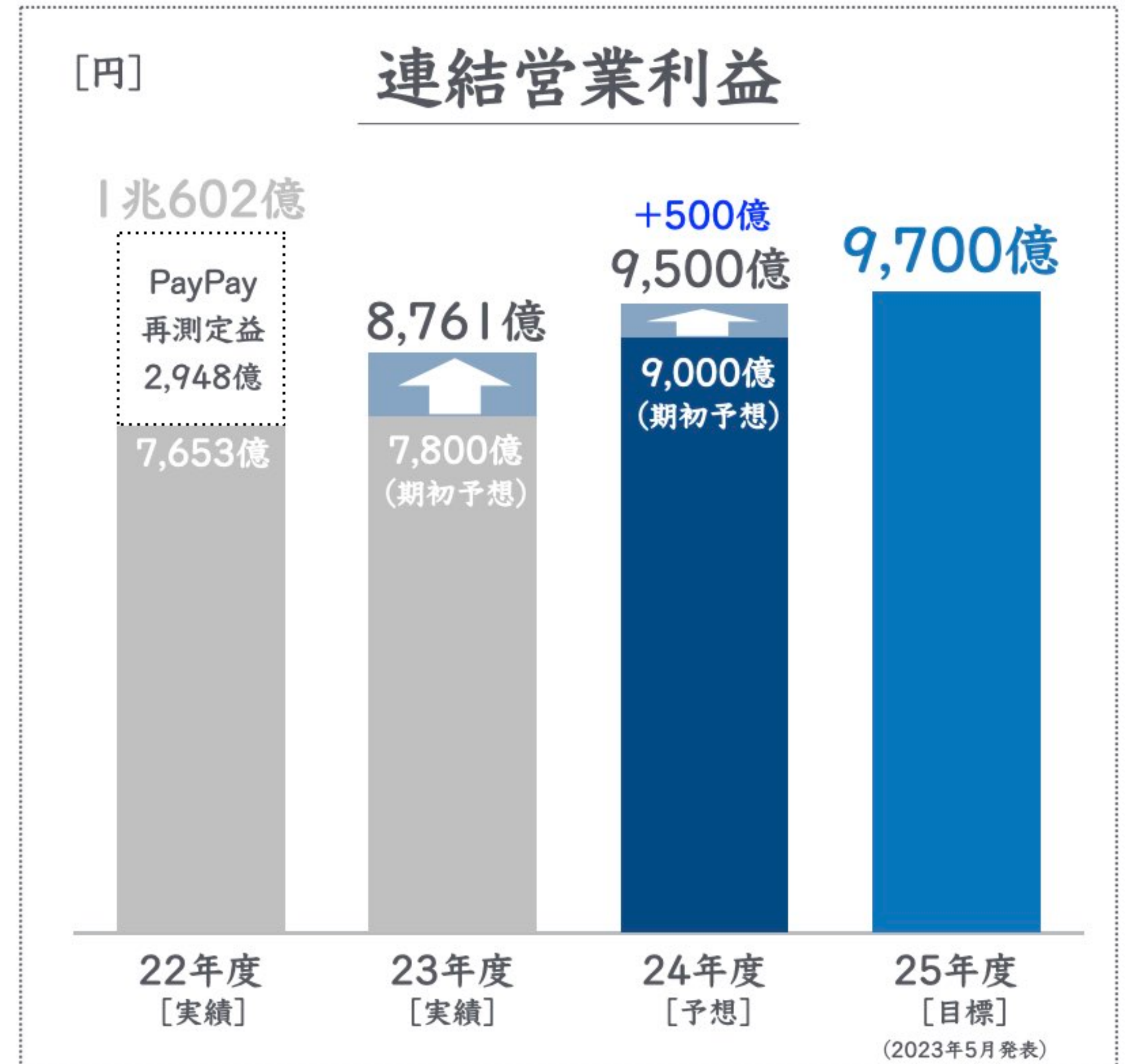
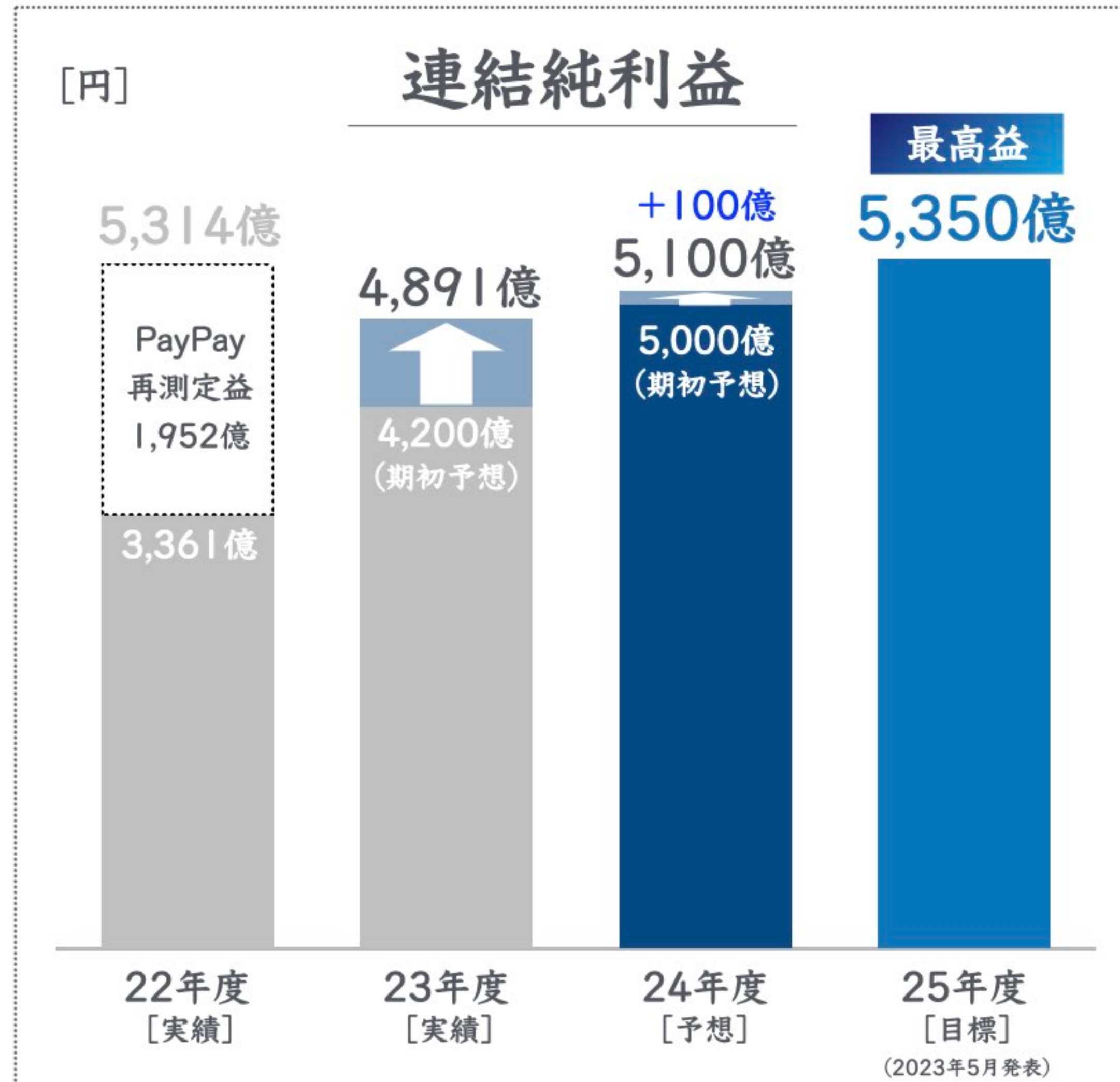
情報・テクノロジーに関連した5つの事業を展開



2025年度に純利益最高益を目指す



順調に進捗、2024年度の通期業績予想を上方修正



本日の流れ

1. 会社概要と業績
2. 事業別の状況
3. 長期的な成長に向けた取り組み
4. 株主還元の方針

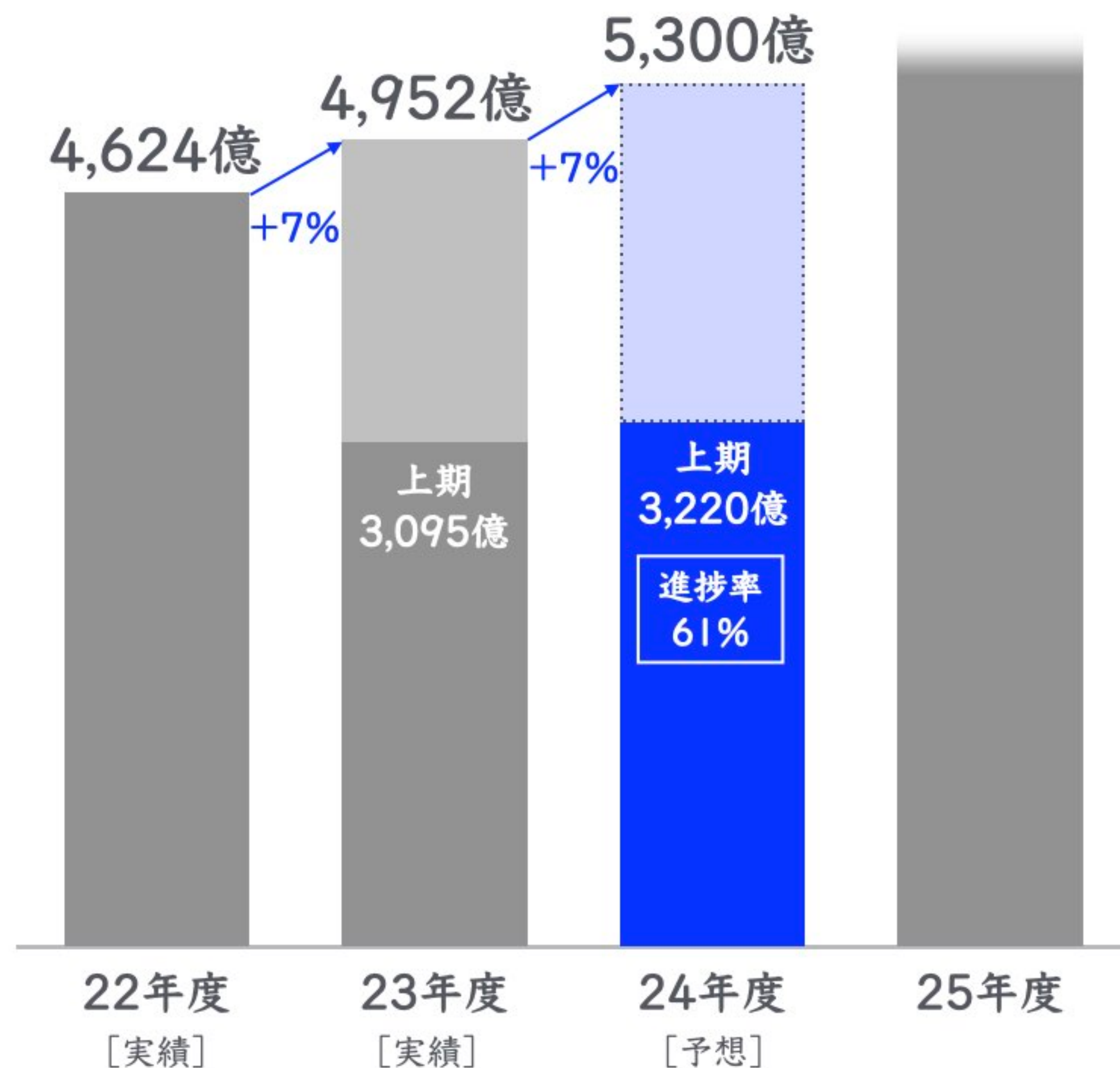
コンシューマ事業

- ・個人向け携帯電話
- ・ブロードバンド
- ・でんき



営業利益

[円]

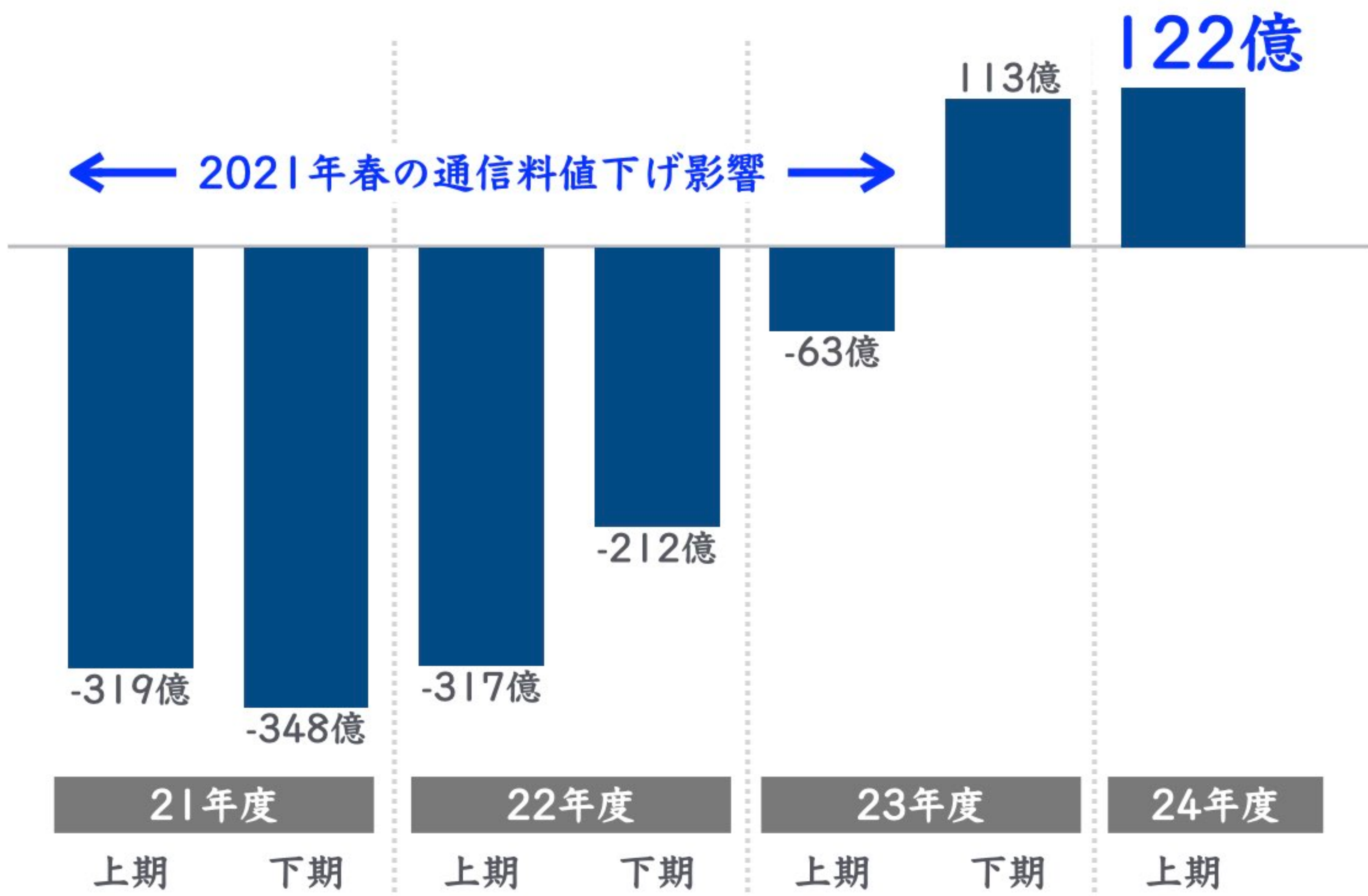


2年連続
7%増益
(2024年度予想)

2024年度上期の進捗率
61%と順調

(注) 進捗率：2024年度通期予想に対する2024年度上期実績の進捗率
※ 2024年度より、「コンシューマ事業」に区分されていた一部の子会社を「その他」に移管しました。これに伴い、「コンシューマ事業」の2023年度の数値を遡及修正

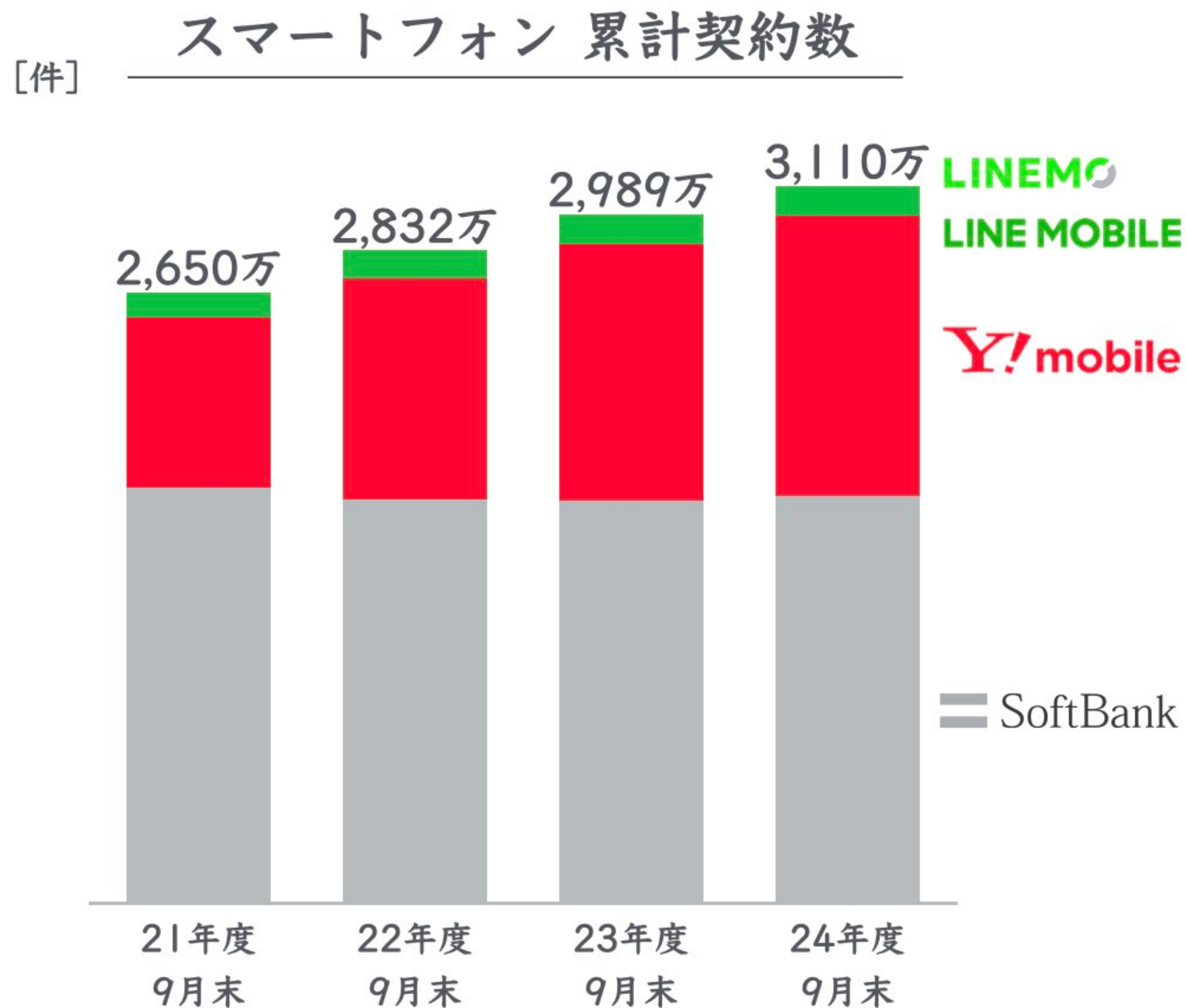
※
モバイルサービス売上 対前年推移
[円]



通料料値下げ影響から脱却
増収の基調へ

スマートフォン 累計契約数

SoftBank



4%増



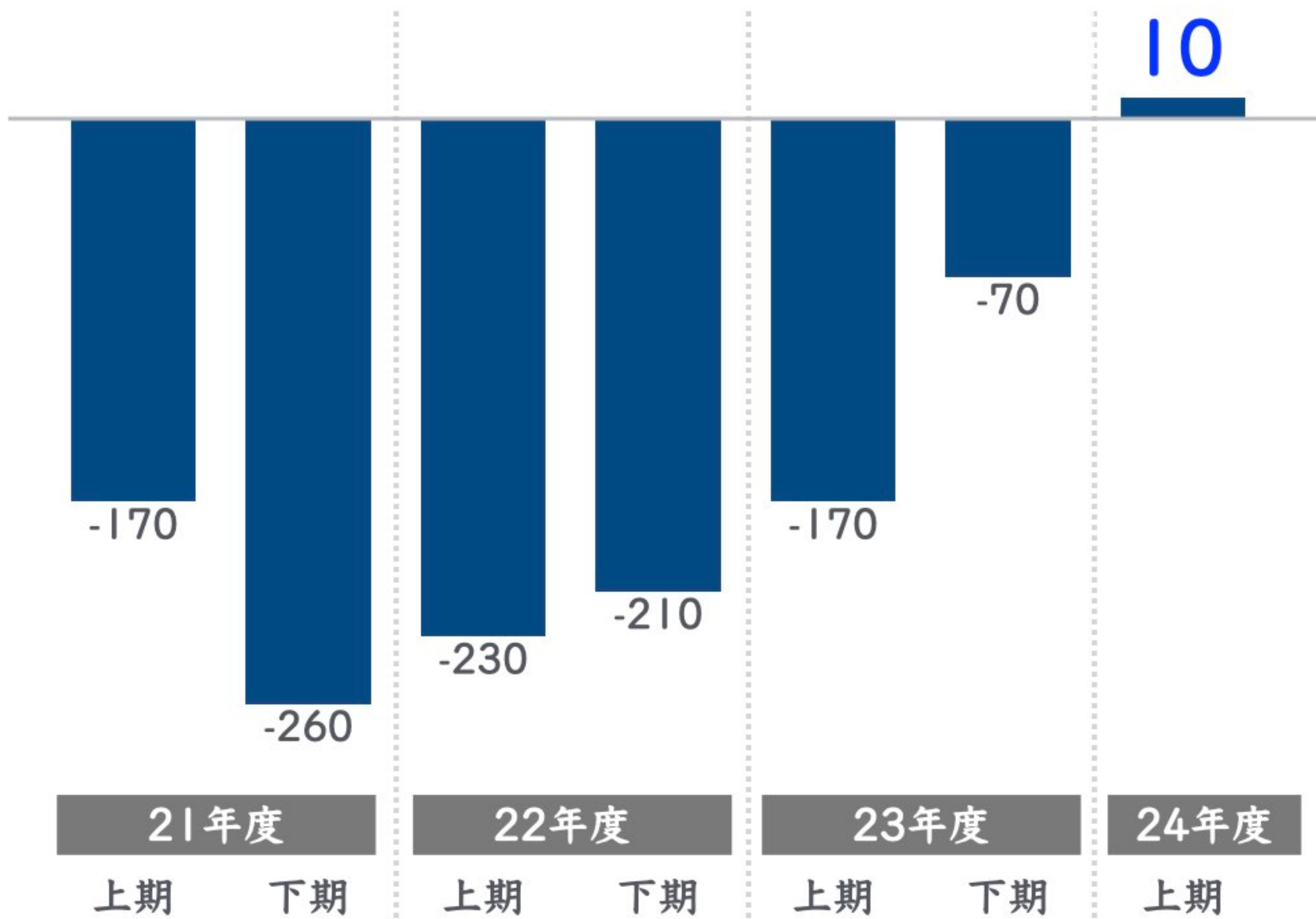
1 契約当たりの月間平均収入(ARPU)

SoftBank

(1 契約当たりの月間平均収入)

モバイルARPU 対前年推移

[円]



前年同期比
プラスに転換

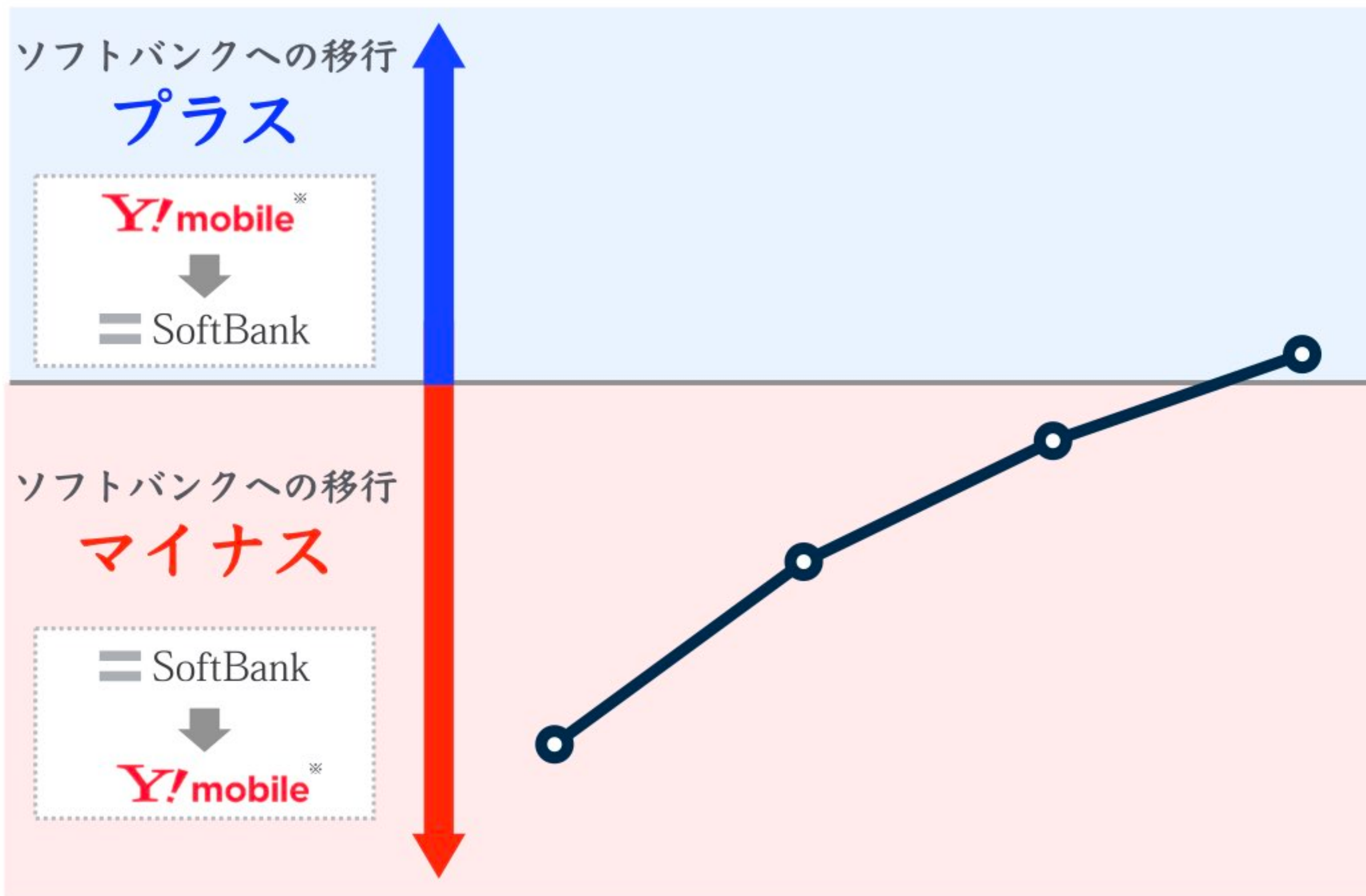
(注) 法人契約を含みます。

モバイルARPU(Average Revenue Per User) = 1 契約当たりの月間平均収入(10円未満を四捨五入して開示)。
ポイント等や端末購入サポートプログラムに係る通信サービス売上控除額はモバイルARPUに不算入です。

「ソフトバンク」ブランドへの移行収支

SoftBank

[件]



プラスに転換
(ARPU改善に貢献)

※ LINEモバイル・LINEMOを含みます。
(注) ワイモバイル/LINEモバイル・LINEMOからソフトバンクへ移行したユーザー数から
ソフトバンクからワイモバイル/LINEモバイル・LINEMOへ移行したユーザー数を引いて算出。
法人契約を除きます。

ペイトク

「ペイトク無制限」初回適用時
PayPay(クレジット/残高/ポイント)のお買い物で

PayPayポイント付与率^{※1}

+5% ➡ +10%

ともに付与上限4,000円相当/月

「ペイしてトクトクキャンペーン2」適用時。ペイトク無制限(9,625円/月)適用から最大3カ月間



料金プラン「ペイトク」の提供開始

PayPayとの連携で
無制限プラン^{※2}をおトクに提供



※1 ペイしてトクトクキャンペーン2適用時。ペイトク無制限(税込 9,625円/月)加入の場合。初回適用から最大3カ月間。

通信料、医療機関、調剤薬局等対象外サービスあり。詳細はWebへ。

「PayPayポイント」は出金・譲渡不可。「PayPayポイント」は、PayPay公式ストア、PayPayカード公式ストアでも利用可能。

※2 時間帯により速度制御の場合あり。テザリングと合計200GB/月超の場合、通常利用に影響のない範囲(最大4.5Mbps)で速度制御。データシェアは50GBまで。

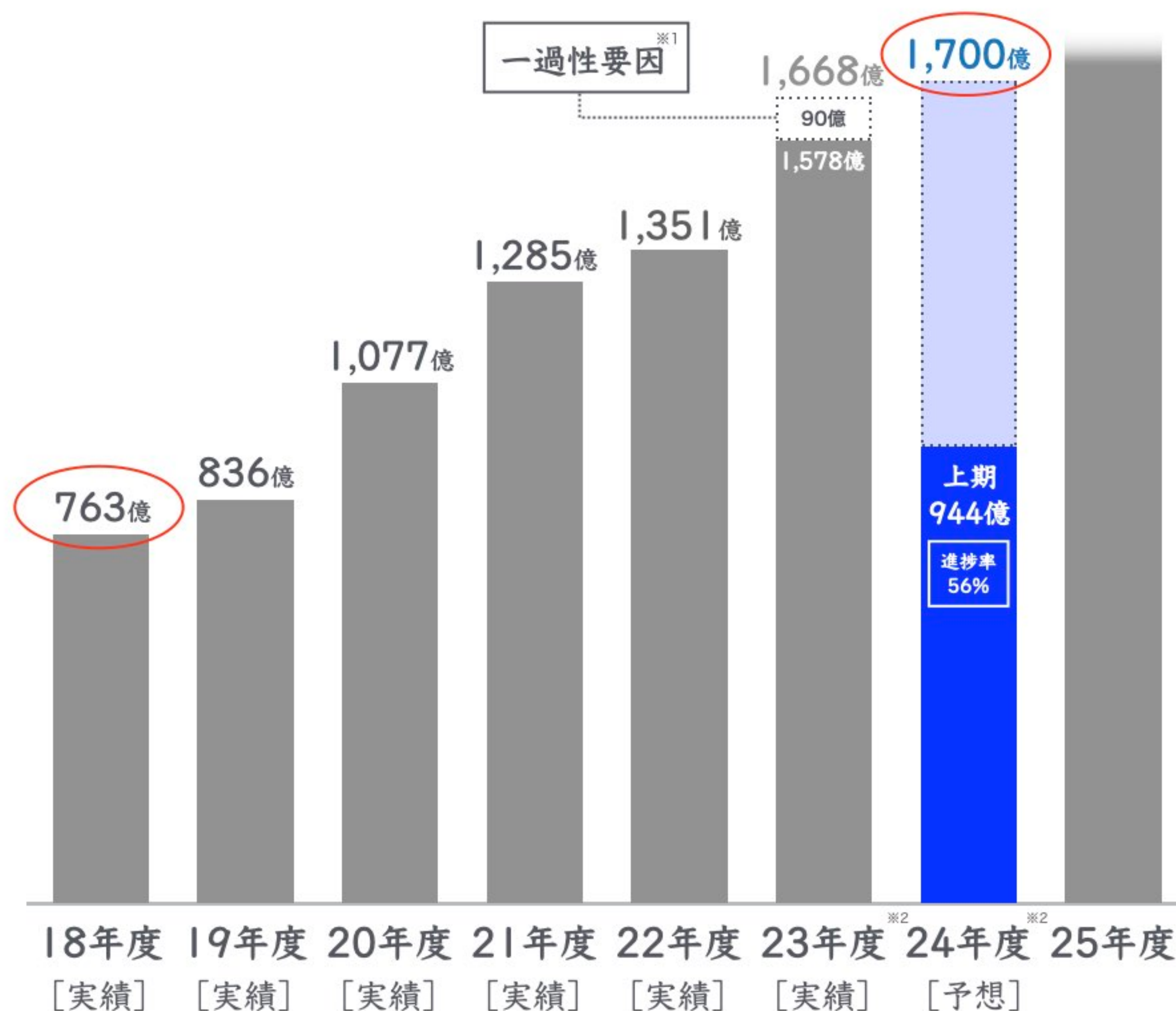
エンタープライズ事業

- ・法人向け携帯電話
- ・クラウドソリューション
- ・セキュリティソリューション



営業利益

[円]

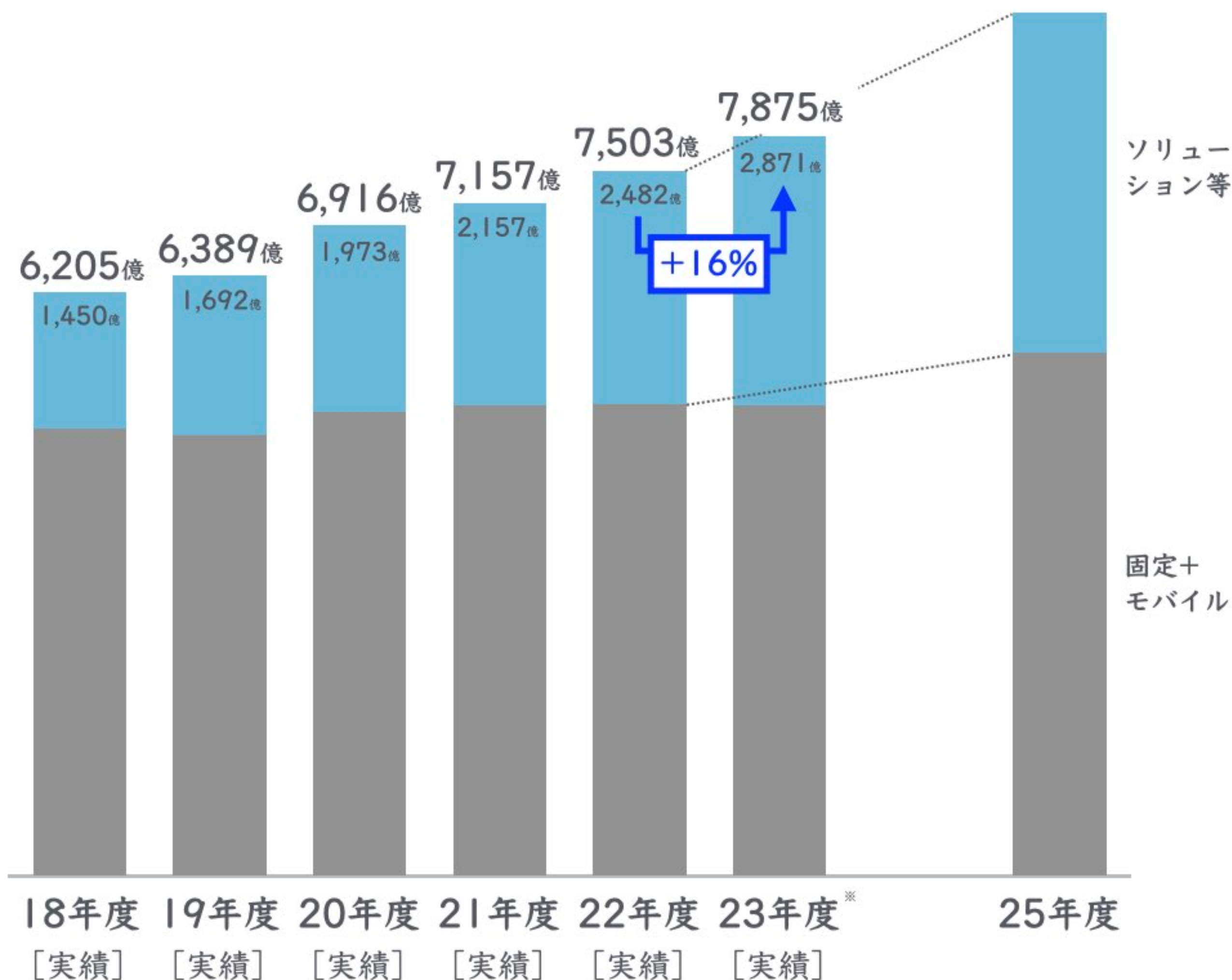


14%増益

(上場後6年の平均成長率)

売上高

[円]



ソリューション等

2桁成長を継続

経営課題の解決に寄与する
ソリューションビジネス



クラウド



セキュリティ



IoT



データセンター



デジタルマーケティング



AI
生成AI



社会課題の解決に繋がる
新事業の創出



社会のDXに貢献

(デジタルトランスフォーメーション)

メディア・EC事業

(LINEヤフー)

- ・ 広告事業
- ・ 検索事業
- ・ コマース事業



2023年10月からLINEヤフー株式会社が再始動

Z HOLDINGS

LINE

YAHOO!
JAPAN

Z entertainment

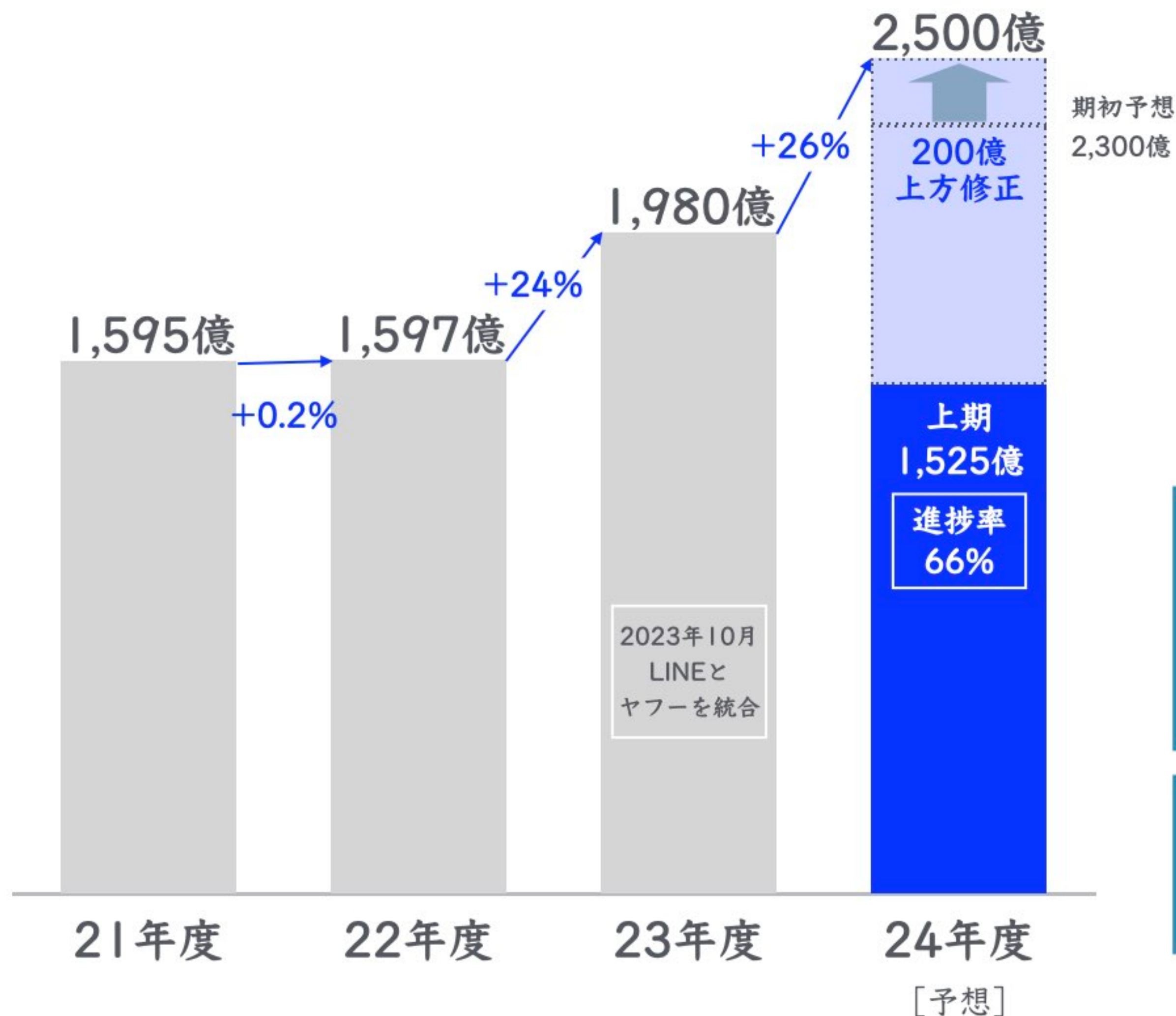
Z Data

グループ再編
(2023年10月1日完了)※

LINEヤフー

営業利益

[円]



2年連続
20%増益
(2024年度予想)

統合に伴うコスト最適化や
事業の選択と集中が寄与

好調なLINEアカウント広告も貢献

グループサービスとの連携でさらなる収益性向上を図る

YAHOO!
JAPAN 

国内トータルデジタルリーチNo.1 ^{※1}

月間利用者数

8,500万人 ^{※2}

Y! ショッピング

YAHOO! ファイナンス

YAHOO! ニュース

YAHOO! 天気・災害

YAHOO! オークション

サービス
連携

LINE 

主なソーシャルメディア系
サービス／アプリ等の利用率 No.1 ^{※3}

月間アクティブユーザー数

スマホユーザーのほぼ全て

9,700万人 ^{※4}

全国1,700ある自治体の内

約1,500の自治体がLINEを活用 ^{※5}

サービス連携

サービス連携

SoftBank

PayPay

ASKUL

一休.com

ファイナンス事業

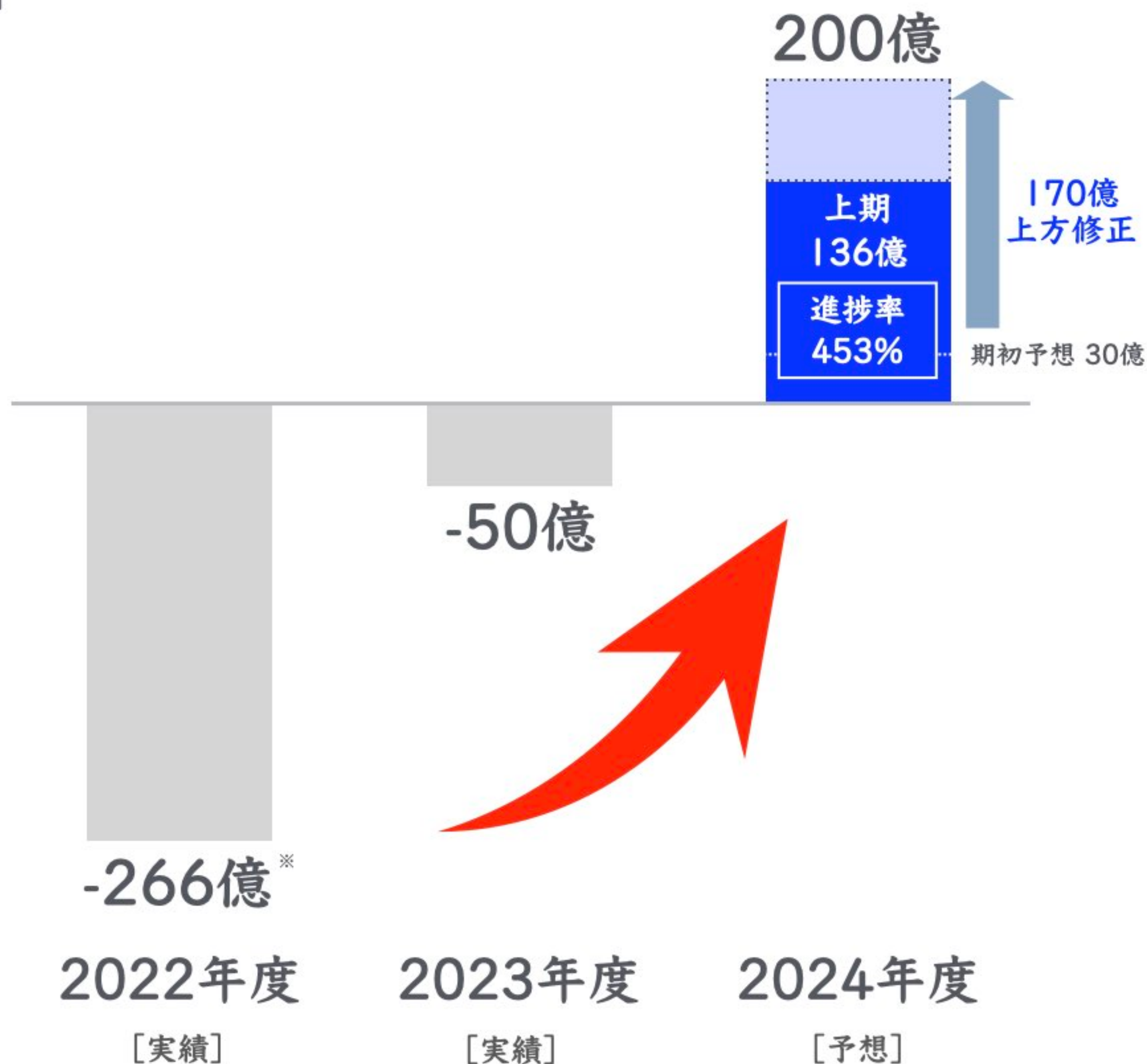
(金融)

- ・ キャッシュレス決済サービス
- ・ 決済代行サービス
- ・ スマホ証券サービス



[円]

営業利益



PayPayの改善により 黒字転換

SB Payment Service PayPay

PayPay カード PayPay 証券

(注) 進捗率：2024年度通期予想(2024年5月発表)に対する2024年度上期実績の進捗率

※ PayPay株式会社を2022年第3四半期から連結しました。

記載の数字はPayPay株式会社を2022年度第1四半期から子会社化していたと仮定した場合の数字です。

6,500万人^{※1}の登録ユーザー数を有する 国内最大シェアのスマホ決済サービス

2023年1月～12月コード決済取扱高



- ・ d払い
- ・ au PAY
- ・ 楽天ペイ (アプリ決済)
- ・ メルペイ

他9社

コード決済
国内市場シェア^{※2}

65%



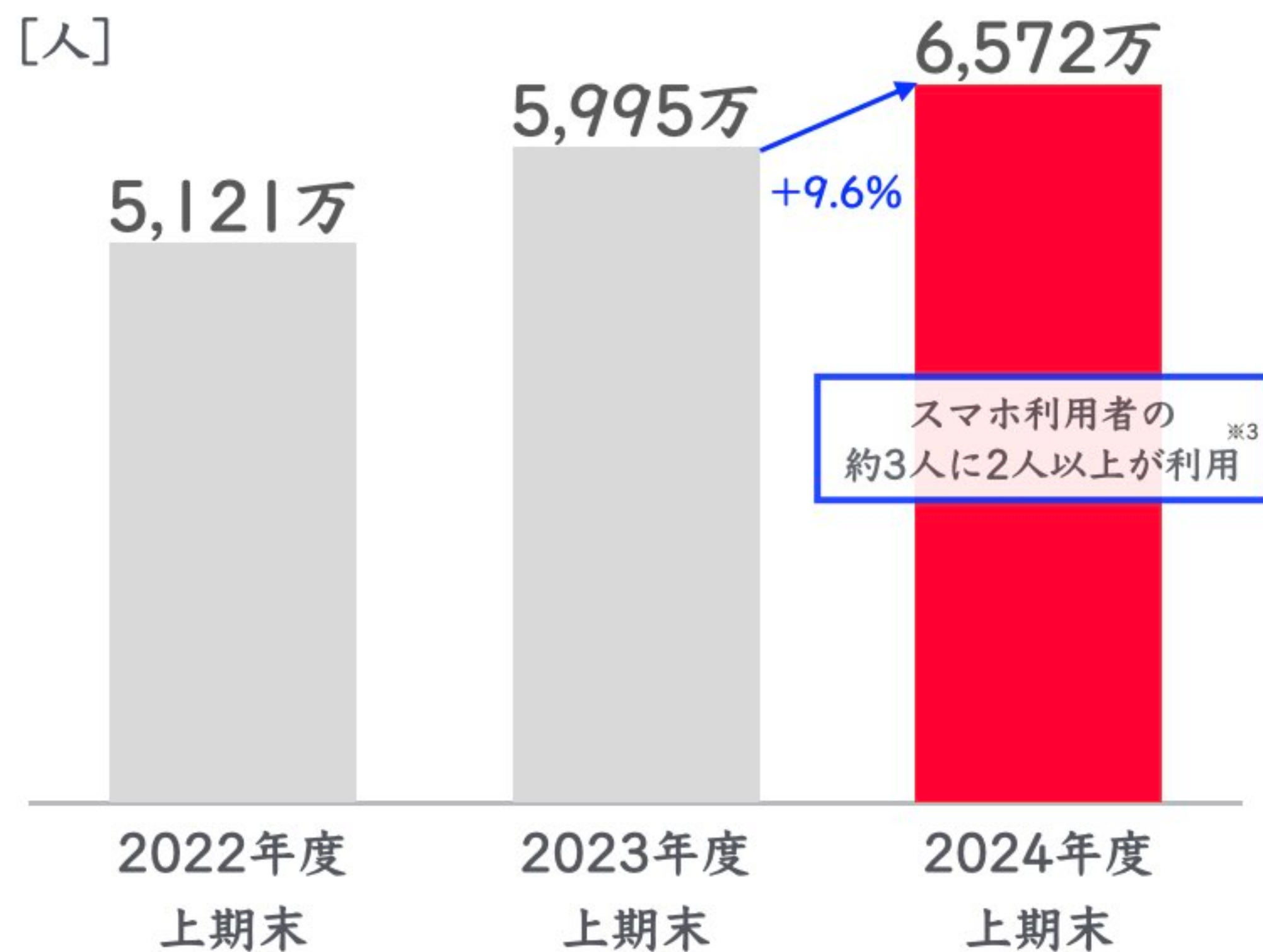
(出所) PayPay株式会社

※1 2024年9月末時点

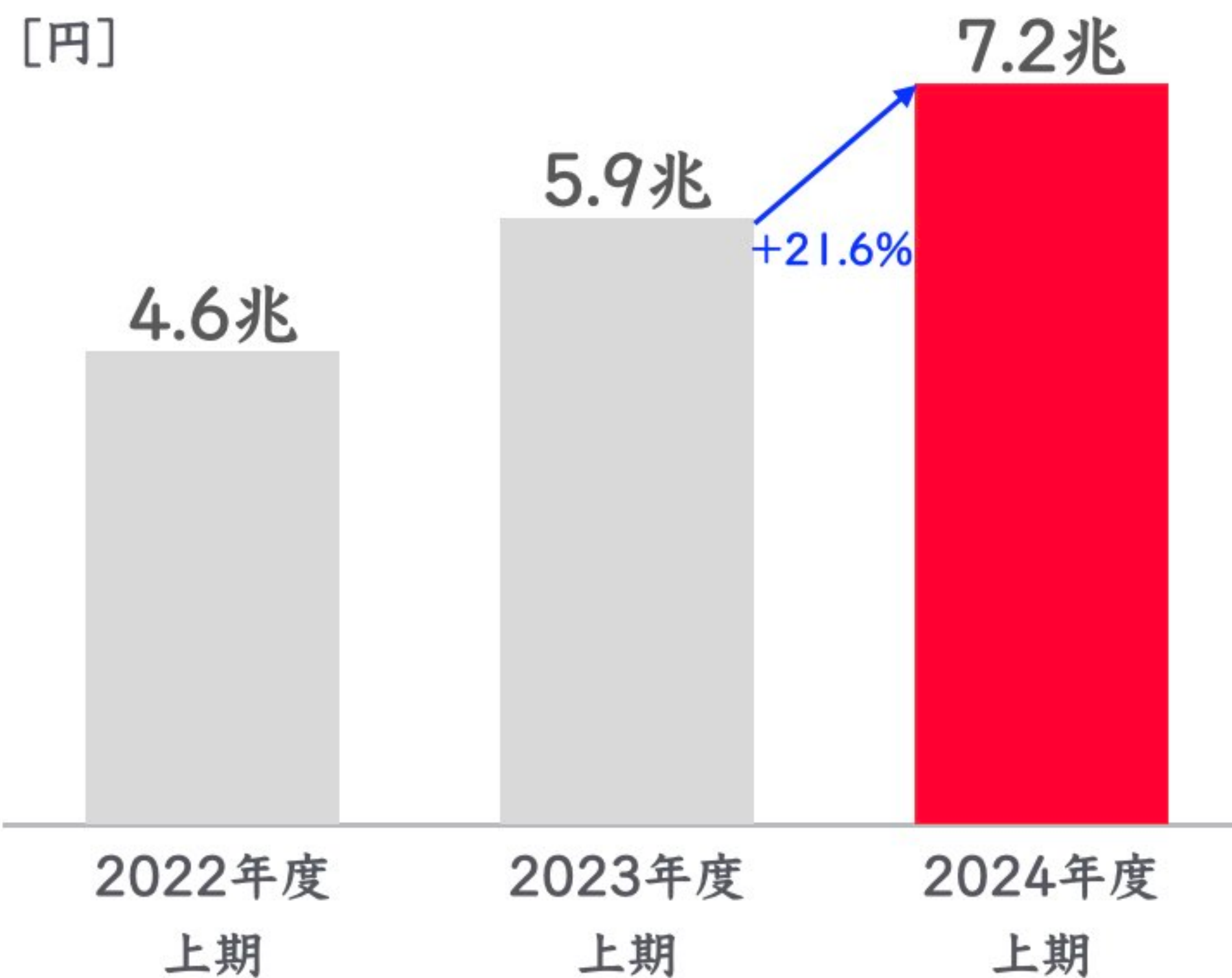
※2 一般社団法人キャッシュレス推進協議会「コード決済利用動向調査 2024年3月25日公表」をもとに当社にて算出しました。

登録ユーザー数・連結決済取扱高は順調に拡大

登録ユーザー数^{※1}



連結決済取扱高^{※2}



(出所) PayPay株式会社
※1 PayPayのアカウント登録済みユーザー数 ※2 ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含みません。「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済および「PayPayクレジット(旧あと払い)」による決済を含みます。
PayPayカード株式会社の決済取扱高をPayPay株式会社の決済取扱高と合算し、PayPay株式会社とPayPayカード株式会社の内部取引を消去しています。

※3 総務省統計局「人口推計—2022年(令和4年)12月報一」および総務省「令和4年通信利用動向調査」の「1. 情報通信機器の保有状況」を基に算出しています。

本日の流れ

- 
1. 会社概要と業績
 2. 事業別の状況
 3. 長期的な成長に向けた取り組み
 4. 株主還元の方針

長期ビジョン

デジタル化社会の発展に不可欠な
次世代社会インフラを提供

第1フェーズ

21年度～22年度

中期経営目標の達成

デジタル化(DX)の推進

必要となる技術の研究開発

第2フェーズ

23年度～25年度

事業基盤の再構築

DXの事業拡大

事業化に向けた技術の実装

前倒して
進捗

第3フェーズ

26年度～30年度

さらなる事業成長

次世代社会インフラ
基盤の完成

現中期経営計画期間

＝ SoftBank

長期的な成長に向けて





国産生成AI開発のための
国内最大規模の計算基盤が稼働

(2024年10月末時点)



4,600億パラメーターの
日本語国産LLMを公開(研究開発用)
追加学習をさらに加速

国内企業として最大規模

北海道データセンターの建設に向けて造成工事中 2026年度開業予定 (300MWに向けて順次拡大予定)



最大300MW(国内最大級)
土地(70万 m^2)

再生可能エネルギーを
活用

シャープ堺工場を活用した AIデータセンター構築について最終交渉中

（2024年6月に基本合意書の締結を発表）



AI × 次世代モバイルネットワーク

AI-RAN

(Radio Access Network)



nVIDIA

arm



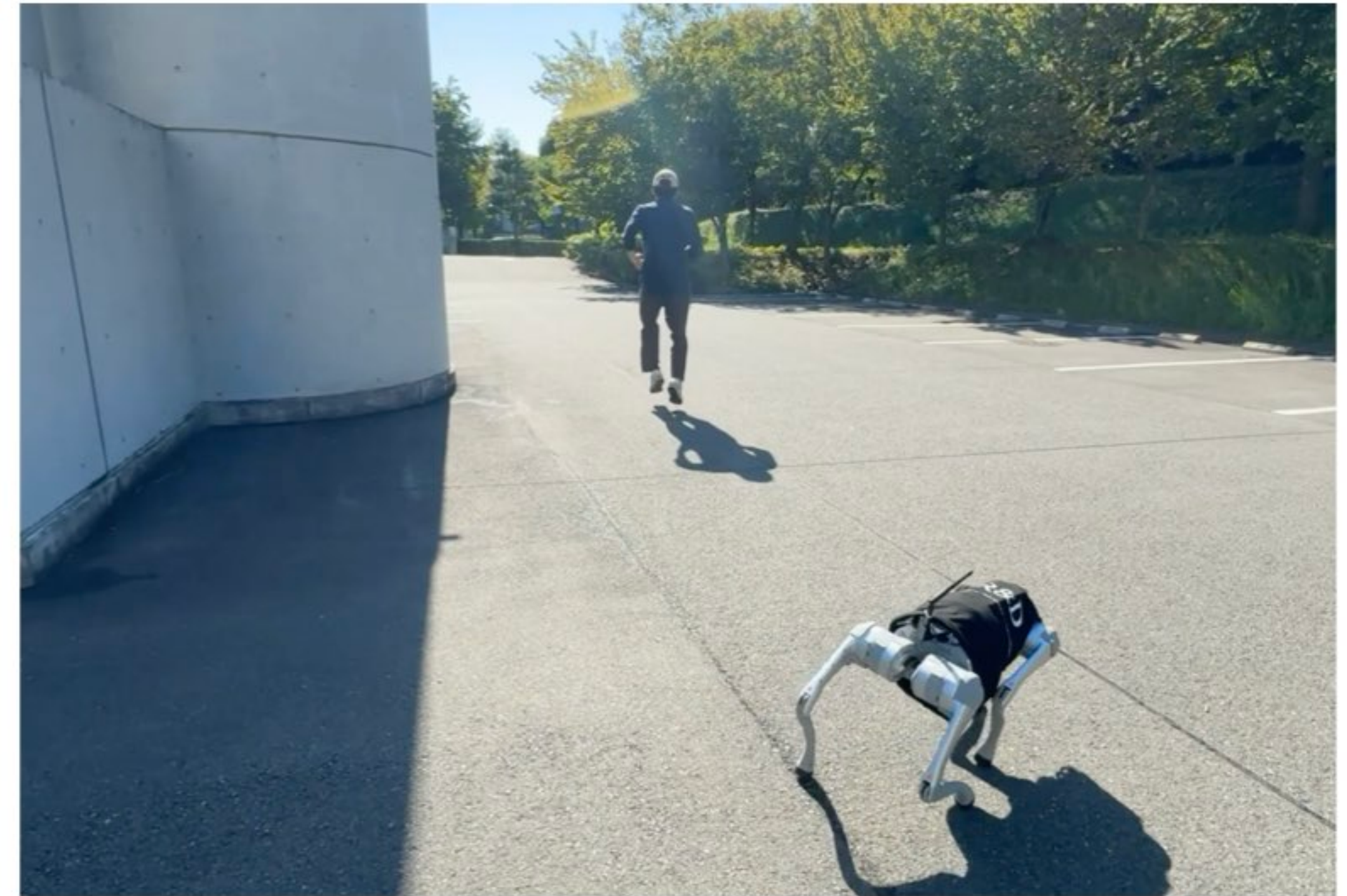
SoftBank

AI-RANを活用した
遅延が少ないネットワーク



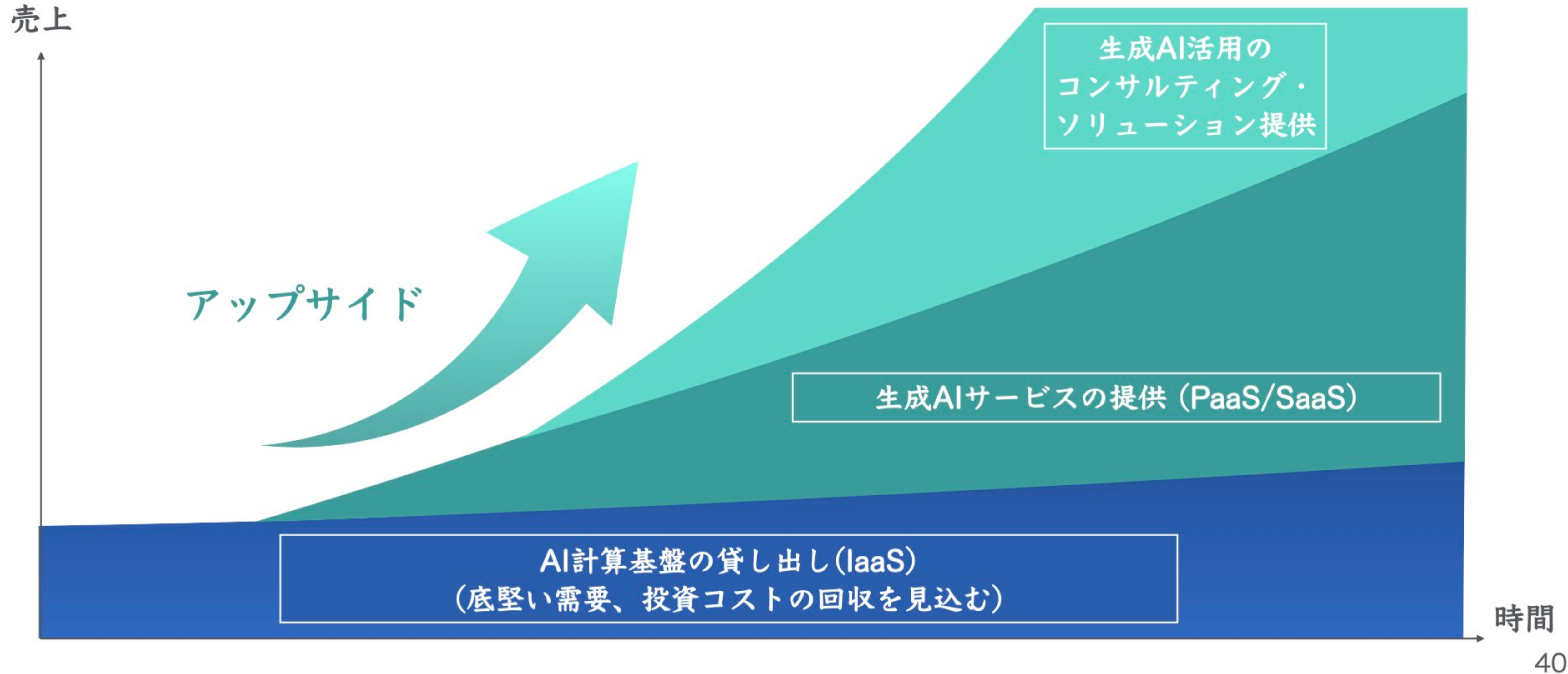
画像を認識し
データ処理する時間が短縮できるため
対象を見失わず**追跡が可能**

現在のネットワーク



画像を認識し
データ処理する時間がかかるため
対象を途中で見失い**追跡不可**

生成AI時代のマーケットリーダーを目指す



＝ SoftBank

長期的な成長に向けて



通信ネットワークの早期復旧と被災者のサポートに注力

衛星アンテナ の設置

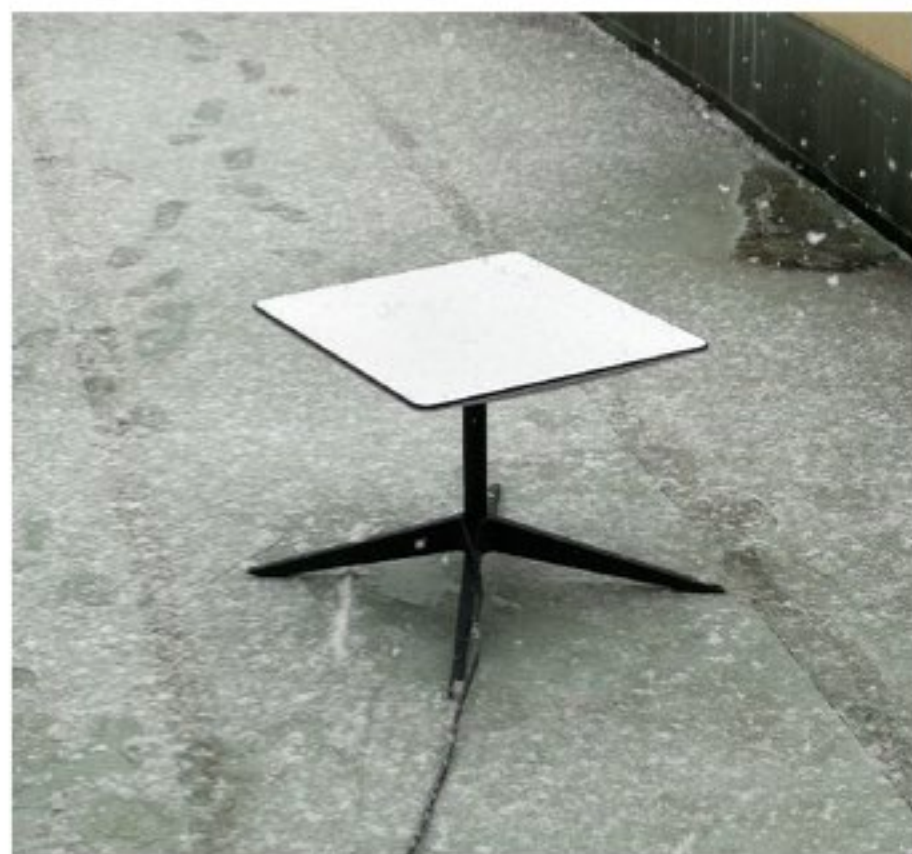


移動基地局車等 の配備



(衛星ブロードバンド
インターネットサービス)

Starlink Business の無償提供



(小規模分散型水循環システム)

「WOTA BOX」 による 入浴等の運用支援



国内外のデジタルデバイド(格差)の解消や 災害時の通信を確保

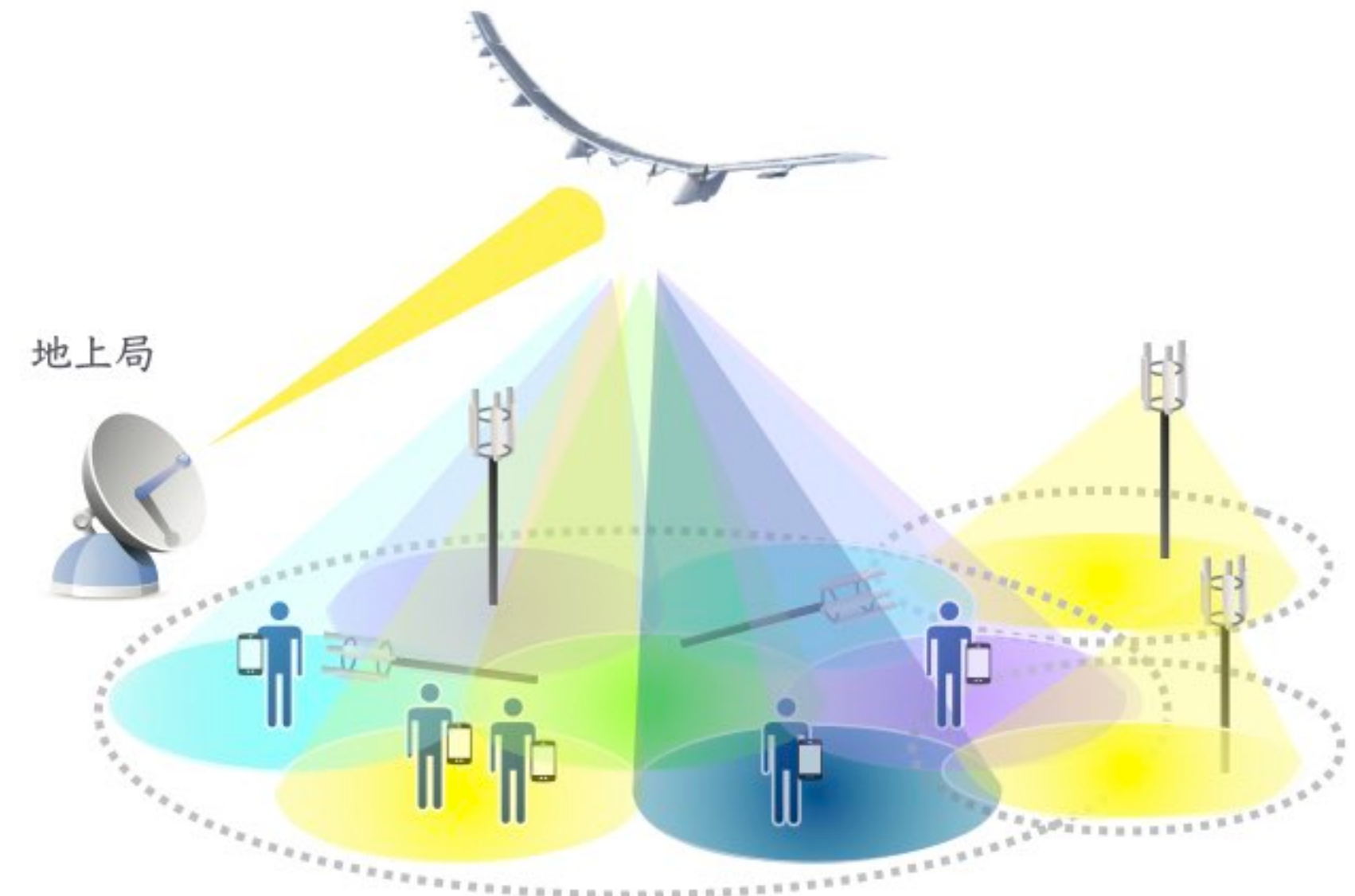
HAPS：成層圏通信プラットフォーム (High Altitude Platform Station)

2024年8月

米国国防総省の実証実験で成層圏飛行に成功



スマートフォンに直接通信を提供する
「モバイルダイレクト通信」の実現を目指す



誰もが情報へアクセスできる環境の提供を目指す



年間
約100万回開催※

「日経SDGs経営大賞」 大賞を史上初2年連続受賞

NIKKEI
SDGs
大賞 2024

大賞
ソフトバンク
(国内887社中トップ)

日経SDGs経営大賞
SDGs戦略・経済価値賞

株式会社
島津製作所

日経SDGs経営大賞
社会価値賞

サントリー
ホール
ディングス

日経SDGs経営大賞
環境価値賞

株式会社
大林組



世界的なESG投資インデックスに選出

Member of

**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

「Dow Jones Sustainability World Index」に
通信企業で日本で唯一選定



FTSE4Good

2024 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数



**FTSE Blossom
Japan**

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

国内でも高い評価



DX銘柄2024
Digital Transformation

「DX銘柄」に4年連続で
情報・通信業で唯一選定

**NIKKEI
SDGs**
大賞 2023

日経SDGs経営大賞で
2年連続大賞を受賞

脱炭素経営ランキング GX500 第1位
2023年、2024年の2年連続1位獲得

work with Pride



LGBTに関する評価指標
「PRIDE指標」

**NIKKEI
Smart Work**
Awards 2024 人材活用力部門

日経スマートワーク大賞2024
「人材活用力部門」で受賞

上場来初となる1位を獲得

ディスクロージャー
2024年度 優良企業

順位	社名
1位	ソフトバンク
2位	KDDI
3位	日本電信電話 (NTT)
4位	インターネットイニシアティブ (IIJ)
5位	カカクコム
6位	楽天グループ
7位	ソフトバンクグループ
8位	サイバーエージェント
9位	LINEヤフー
10位	メルカリ

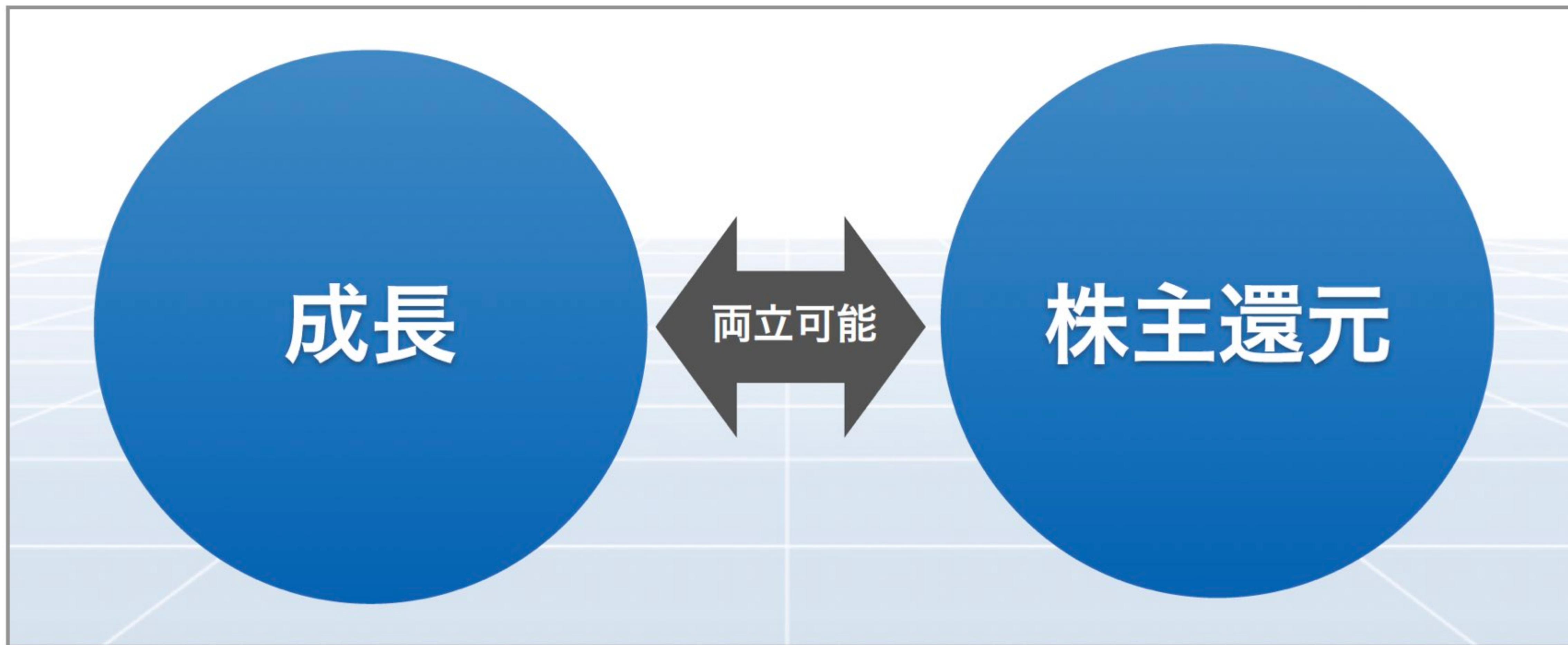


公益社団法人
日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan

本日の流れ

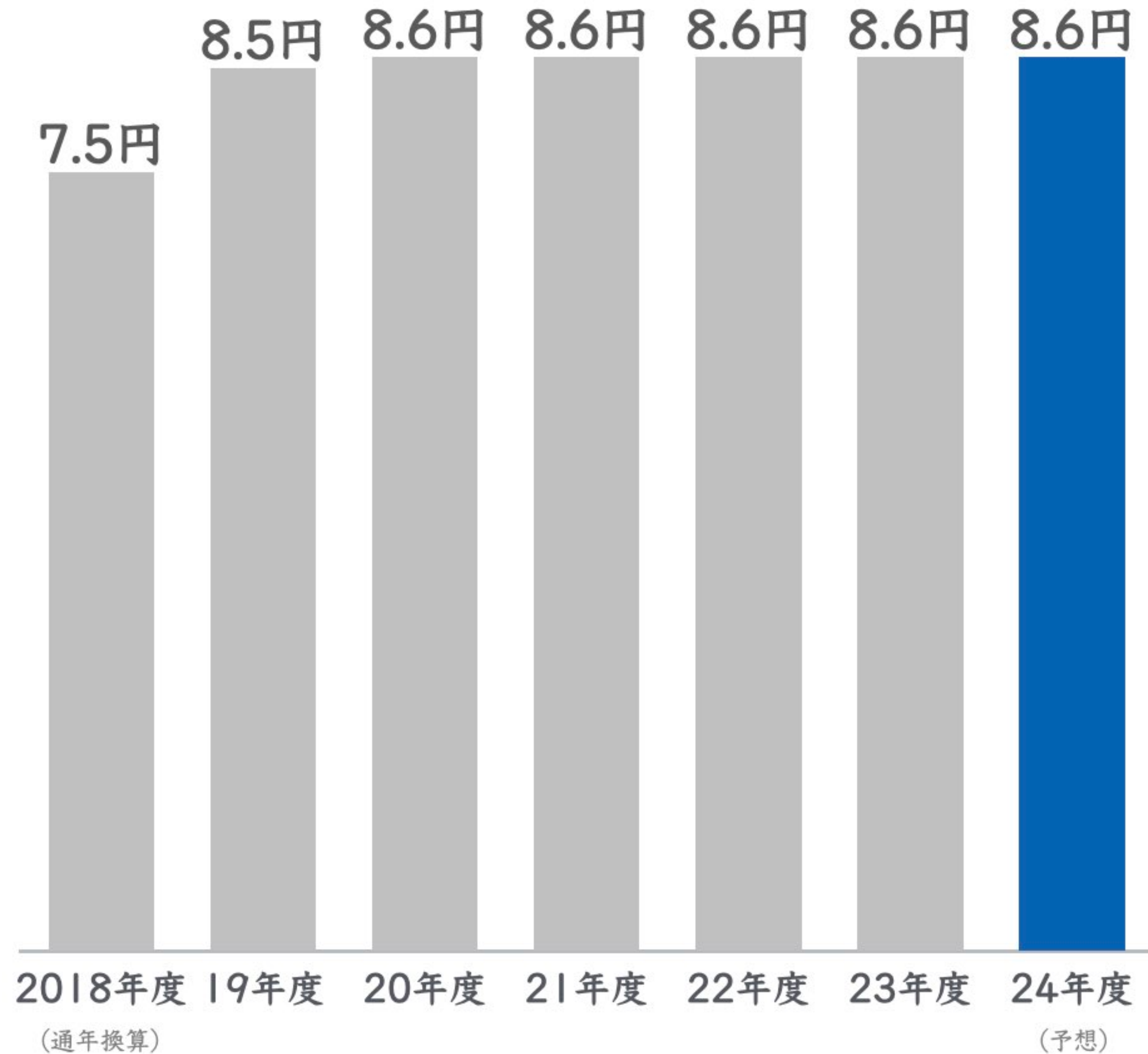
1. 会社概要と業績
2. 事業別の状況
3. 長期的な成長に向けた取り組み
4. 株主還元の方針

成長と同時に高水準の株主還元を掲げる



一株当たり配当金 (年間)

SoftBank



高水準継続

(注) 当社普通株式に係る一株あたり配当金の推移です。2018年度は期末配当3.75円に基づき、通年換算額を記載しています。2019年度以降、当社は中間配当および期末配当を支払っています。

配当利回り ～時価総額上位25社比較

	社名	時価総額 (2024年11月29日時点)	配当利回り (2024年11月29日時点)
1	トヨタ自動車	40.3兆円	3.53%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	21.6兆円	3.35%
3	ソニーグループ	18.8兆円	0.67%
4	日立製作所	17.4兆円	-
5	リクルートホールディングス	17.1兆円	0.23%
6	ファーストリテイリング	16.3兆円	0.88%
7	キーエンス	15.7兆円	0.54%
8	三井住友フィナンシャルグループ	14.5兆円	3.26%
9	日本電信電話	13.9兆円	3.39%
10	ソフトバンクグループ	13.1兆円	0.49%
11	伊藤忠商事	11.7兆円	2.71%
12	任天堂	11.4兆円	1.46%
13	信越化学工業	11.1兆円	1.91%
14	中外製薬	11.1兆円	-
15	東京海上ホールディングス	11兆円	2.91%
16	東京エレクトロン	11兆円	2.45%
17	KDDI	10.8兆円	2.93%
18	三菱商事	10.2兆円	3.96%
19	みずほフィナンシャルグループ	9.6兆円	3.44%
20	三井物産	9.3兆円	3.19%
21	第一三共	9.2兆円	1.26%
22	ソフトバンク	9.2兆円	4.45%
23	日本たばこ産業	8.4兆円	4.60%
24	三菱重工業	7.4兆円	1.00%
25	本田技研工業	6.8兆円	5.27%

■ 配当利回りが3%以上：10社

配当利回りと利益成長率 ～時価総額上位25社比較

	社名	時価総額 (2024年11月29日時点)	配当利回り (2024年11月29日時点)	営業利益成長率 (FY23上期 vs FY24上期)
1	トヨタ自動車	40.3兆円	3.53%	-4%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	21.6兆円	3.35%	-
3	ソニーグループ	18.8兆円	0.67%	42%
4	日立製作所	17.4兆円	-	24%
5	リクルートホールディングス	17.1兆円	0.23%	13%
6	ファーストリテイリング	16.3兆円	0.88%	31%
7	キーエンス	15.7兆円	0.54%	11%
8	三井住友フィナンシャルグループ	14.5兆円	3.26%	-
9	日本電信電話	13.9兆円	3.39%	-3%
10	ソフトバンクグループ	13.1兆円	0.49%	-
11	伊藤忠商事	11.7兆円	2.71%	5%
12	任天堂	11.4兆円	1.46%	-57%
13	信越化学工業	11.1兆円	1.91%	6%
14	中外製薬	11.1兆円	-	32%
15	東京海上ホールディングス	11兆円	2.91%	-
16	東京エレクトロン	11兆円	2.45%	76%
17	KDDI	10.8兆円	2.93%	2%
18	三菱商事	10.2兆円	3.96%	34%
19	みずほフィナンシャルグループ	9.6兆円	3.44%	-
20	三井物産	9.3兆円	3.19%	-10%
21	第一三共	9.2兆円	1.26%	97%
22	ソフトバンク	9.2兆円	4.45%	14%
23	日本たばこ産業	8.4兆円	4.60%	1%
24	三菱重工業	7.4兆円	1.00%	87%
25	本田技研工業	6.8兆円	5.27%	7%

- 配当利回りが3%以上：10社
- 営業利益成長率が10%以上：11社

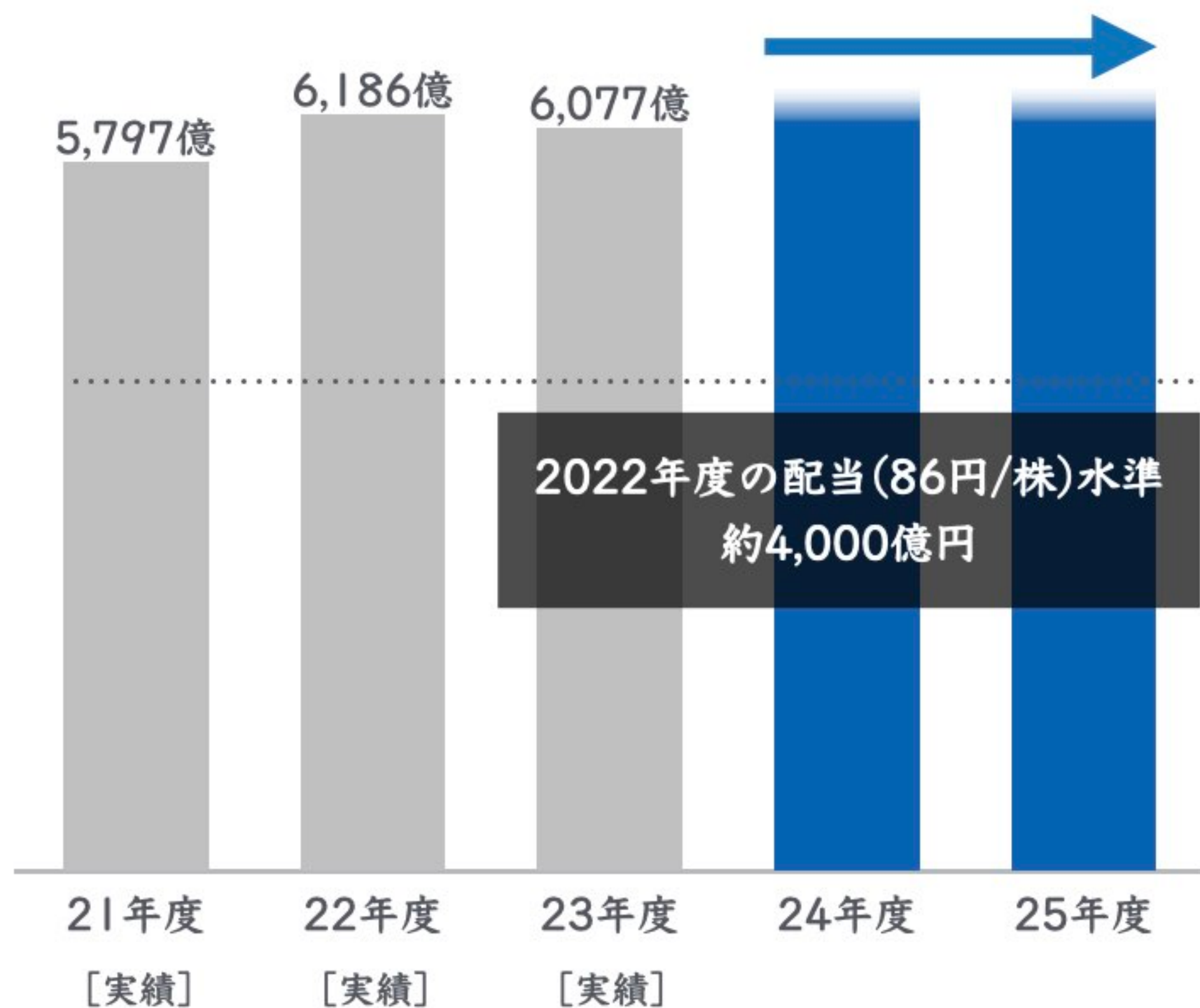
成長と還元を
両立

(注) 「Bloomberg」で取得したデータをもとに、時価総額TOP25の企業でランキングを作成。伊藤忠商事、三菱商事、三井物産は営業利益を開示していないため、税引前利益を基に増減率を計算。当社調べ。

(フリー・キャッシュ・フロー)

プライマリーFCF

[円] 2022年度の配当水準を超える
高水準のプライマリーFCFの創出を継続



長期格付

国内の代表的な格付会社から
高い格付けを付与

(株)日本格付研究所
JCR

AA—
(安定的)

(株)格付投資情報センター
R&I

A+
(安定的)

(定義) プライマリー・フリー・キャッシュ・フロー：AI計算基盤など中長期的な成長に資する戦略投資前のフリー・キャッシュ・フロー
(注) Aホールディングス株式会社、LINEヤフーグループ、Bホールディングス株式会社、PayPay株式会社、PayPayカード株式会社、PayPay証券株式会社などのフリー・キャッシュ・フロー、役員への貸付などを除き、Aホールディングス株式会社からの受取配当を含みます。
財務活動によるキャッシュ・フローとして計上されるリース負債の返済による支出 (通信設備・不動産賃借料等) 控除前。2023年度の実績は1,184億円です。

株式分割を発表^{※1}

(2024年10月1日実施)

10分割

株主優待の新設を発表^{※2}

 PayPay (PayPayマネーライト)^{※3}

1,000円分進呈



※1 2024年9月30日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき10株の割合をもって分割しました。

※2 毎年3月31日(基準日)現在、同一の株主番号で当社株主名簿に1年以上継続して記載または記録されており、かつ、当社普通株式を100株(1単位)以上保有されている株主を対象とします。なお、「1年以上継続して記載または記録」とは、同じ株主番号で3月末日および9月末日時点の当社株主名簿に、3回以上、連続で記載または記録されていることとします。2026年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社普通株式100株(1単位)以上を保有する株主を対象に開始します。

※3 PayPayマネーライトは譲渡・請求書払い(税金以外)、PayPay/PayPayカード公式ストアでも利用可能です。出金や自治体への請求書払い(税金など)には利用できません。

本日のまとめ

❶ 中期経営計画（2023年度～2025年度）が前倒して順調に進捗

- ・ 2023年度は予想を上回って着地（全事業増益）
- ・ 2024年度の業績予想を上方修正（全事業増益）

❷ 長期的な成長に向けた取り組みが進展

- ・ 国内最大規模の計算基盤が稼働 / AIデータセンター新設を推進
- ・ ESGの取り組みにも注力

❸ 成長と株主還元の両立を図る



情報革命で人々を幸せに



The logo consists of two horizontal gray bars stacked vertically, followed by the text "SoftBank" in a dark gray serif font.

SoftBank